

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度 技術情報第6号（水稻海外飛来性害虫）について（送付）

水稻海外飛来性害虫の今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

.....

平成18年度 技術情報第6号

本年は、水稻海外飛来性害虫のトビイロウンカ・コブノメイガの飛来量が多く、注意報第3号（平成18年7月12日付け）を発表し、防除を呼び掛けたところであるが、その後、7月第5半旬に豪雨に見舞われた県北地域を中心に更なる飛来も認められている。

そこで、今後の防除対策について、以下のとおりとりまとめたので、注意の上、適切な防除に努める。

1 対象病害虫 トビイロウンカ、コブノメイガ

2 対象作物 普通期水稻

3 発生状況

(1) トビイロウンカ

7月下旬の巡回調査でのトビイロウンカの発生ほ場率は12%で、平年(4%)に比べ高い。

本年、最もトビイロウンカの飛来量が多かった7月5日を起算日とした鹿児島市での発生経過予測によると、飛来次世代成虫が7月31日頃羽化し、8月下旬にかけて増殖が懸念される。（別紙、発生経過予測図を参照。）

〔 ※ 注：注意報第3号では、飛来次世代成虫の羽化日が7月28日であったが、ほ場での発生経過を基に修正し、7月31日とした。 〕

(2) コブノメイガ

7月下旬の巡回調査でのコブノメイガによる被害発生ほ場率は79%(平年83%)と平年並で、飛来次世代幼虫の被害は箱施薬剤の効果等により概ね低く抑えられているが、本年は飛来量が多いため、被害の進展が懸念される。

本年は7月第2～3半旬に成虫密度が高くなっており、7月7日を起算日とした鹿児島市での飛来次世代の発蛾最盛日は、当初の予測どおり8月6日頃と予測される。（別紙、発生経過予測図を参照。）

4 防除の考え方

(1) コブノメイガに対する防除

ア 粒剤による防除

7月5日飛来に由来するコブノメイガを対象に粒剤で防除を行う場合は、飛来次世代の発蛾最盛日である8月6日頃を目安に、ほ場に水を溜めてから散布する。

イ 粉剤・液剤等による1回防除

7月5日飛来に由来するコブノメイガの飛来次世代の発蛾最盛日の7～10日後（8月13～16日）

ウ 粉剤・液剤等による2回防除

7月5日飛来に由来するコブノメイガの飛来次世代の発蛾最盛日の3日後と10日後（8月9日と16日）

(2) トビイロウンカに対する防除（粉剤・液剤・粒剤等による防除）

7月5日飛来のトビイロウンカ第2世代幼虫を対象に粉剤・液剤等で防除を行う場合は、8月20～25日頃を目安に防除する。

(3) トビイロウンカとコブノメイガの同時1回防除（粉剤・液剤等による防除）

7月5日飛来に由来するトビイロウンカとコブノメイガの同時防除による1回防除を行う場合は、8月18～23日頃が防除適期となる。

〔注：トビイロウンカの防除を重視した時期の設定としたため、コブノメイガの防除適期より5～7日遅れ、実害のない程度の被害が出る可能性がある。〕

(4) 7月22日の飛来虫に対する対応

7月22日の飛来虫は、豪雨に見舞われた県北地域では飛来量が多い傾向にあると考えられる。

また、冠水したほ場では、7月5日飛来に由来する幼虫の流出等が考えられるため、8月の発生状況を確認した上で防除情報の提供を予定している。

(参考資料)

ウンカ類及びコブノメイガの予察灯誘殺状況

農業開発総合センター（南さつま市金峰町，2006年）

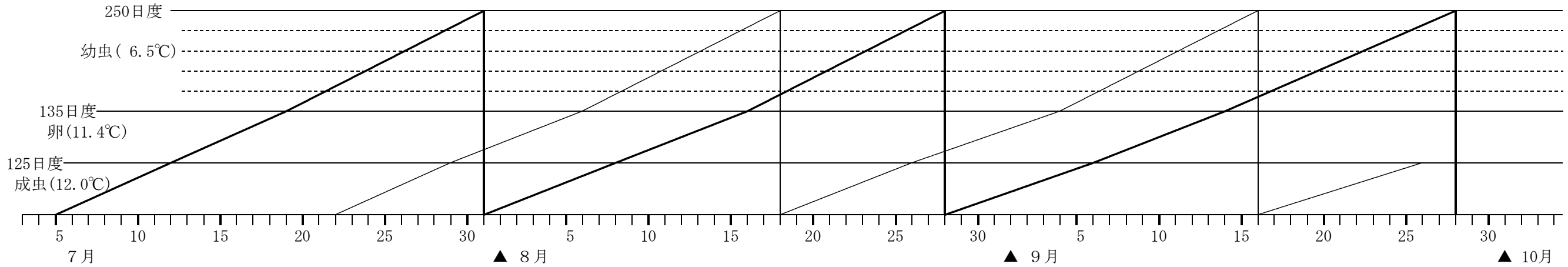
日	60W電灯（水田）		ジヨソソトラップ		ブルーライトトラップ
	(参考) セジロウカ	トビイロウカ	(参考) セジロウカ	トビイロウカ	コブノメイガ
6/1	0	0	0	0	1
2	0	0	0	0	0
3	-	-	0	0	0
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	3	0	2	0	2
9	0	0	0	0	0
10	-	-	0	0	0
11	1	0	0	0	3
12	0	0	0	0	7
13	0	0	0	0	1
14	0	0	4	0	1
15	6	2	0	1	2
16	2	0	0	0	4
17	-	-	8	0	4
18	83	6	0	0	0
19	2	0	2	1	0
20	2	0	1	0	0
21	0	2	0	0	0
22	0	1	1	1	0
23	12	1	6	3	0
24	-	-	12	1	3
25	28	6	7	0	0
26	0	0	5	0	-
27	31	1	22	0	-
28	125	4	2	1	5
29	24	2	3	2	2
30	11	8	4	0	0
7/1	1	1	1	0	0
2	437	9	231	5	0
3	1585	5	57	2	0
4	10	1	33	2	0
5	9720	329	1064	99	2
6	872	121	16	2	12
7	401	24	41	0	10
8	169	8	21	0	213
9	59	2	13	0	4
10	29	1	1	0	127
11	43	1	0	0	115
12	27	1	0	0	81
13	9	0	0	0	64
14	1	0	0	0	65
15	33	5	0	0	28
16	8	1	0	0	3
17	7	1	0	0	6
18	3	0	2	1	1
19	4	0	30	3	0
20	1	1	17	0	0
21	15	0	95	7	3
22	656	1	140	2	0
23	204	4	6	0	25
24	2	0	9	0	23
25	13	4	4	0	3

海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測図（鹿児島地方気象台：鹿児島のデータを使用）

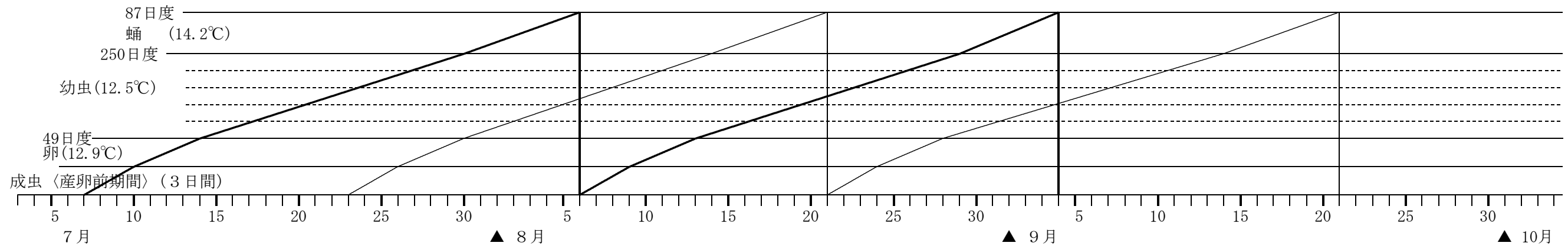
2006年 7月27日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. トビイロウンカ



2. コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。